

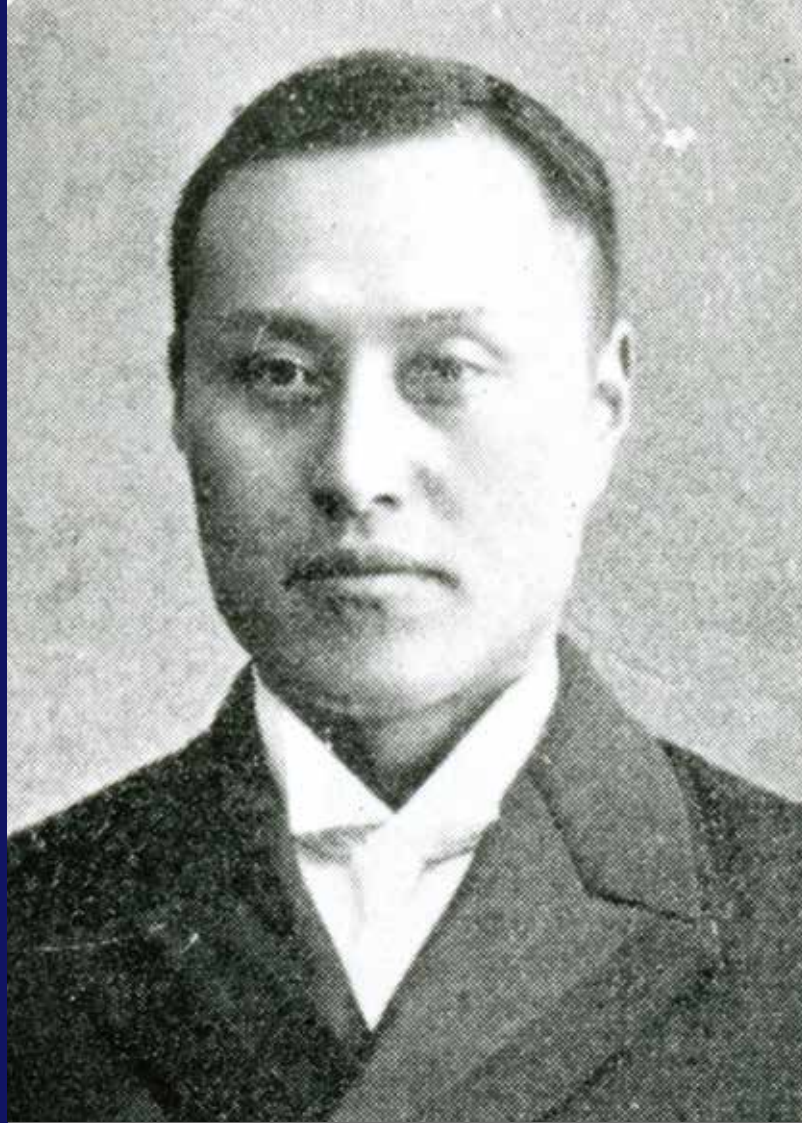
おおぐち

きろく

大口 喜六

明治3年（1870）～昭和32年（1957）

豊橋船町（現 市内船町）出身



明治32年（1899）から2期愛知県
会議員を務め、明治39年（1906）
8月1日、豊橋が市制を施行したと
ときには、初代市長に選任された。
衆議院議員の時期が長く、明治45
年（1912）初当選以来一度の中断
はあるものの、昭和17年（1942）
まで10期代議士生活を送った。そ
の間、昭和2年（1927）に大蔵政
務次官となった他、各種多様の委
員を歴任し、国会屈指の財政通で
あったといわれる。

卓越した政治家であるとともに郷
土史にも造詣が深く、『豊橋市及
其附近』『豊橋市史談』他の著作
がある。

初代豊橋市長、衆議院
議員として活躍した
豊橋の代表的政治家